

可児高発議第1号

公衆フリーWi-Fiの環境整備に関する意見書

私たちエンリッチコアメンバーは、本年度可児高等学校模擬選挙の公約についてテーマを決めるため、「この街に対して自分たちが思っていること」を話し合いました。その中に「可児市に公衆Wi-Fi環境を整えて欲しい」というものがありました。現在の可児市には公衆Wi-Fiがありません。

そのデメリットを二つあげます。

一つ目は、本年度、大河ドラマ「麒麟がくる」の影響でこの地域を訪れる観光客が増加していますが、観光スポットや街中の情報を得るのに、特に外国人観光客は公衆Wi-Fiがないと情報が得にくい現状があります。

二つ目に、私たち高校生にとって、学習時に何か調べたいことがある時にスマホを活用して情報収集や各種解説動画を見て理解を深めたいというニーズが強くなります。しかし毎月数ギガの中で、残りデータ残量を気にしながら過ごしている現状があります。

このように「公衆Wi-Fiを整備する」ことは地域住民にとって生活の利便性が向上させるのに有効な手段と考えます。確かに全ての住人が接続するとなると相当な設備が必要になるため、どのような形で実現するかについてはこれからリサーチを必要とすると思いますが、日本各地で自治体主導で公衆Wi-Fiを整備した事例は数多くあり全く実現不可能だとは言えないと思います。

これからの可児市をより住みやすく、過ごしやすくするためにも大切だと思います。

以上のことから次の一点について要望します。

記

- 1 可児市に公衆フリーWi-Fiを整備すること。

令和2年2月5日

岐阜県立可児高等学校
2年 松下 萌唯

可児市議会 議長 伊藤 壽 様

学習スペースを設けることについての意見書

私たちは、昨年の10月に市議員の方々の協力を得て校内で行った、市長選の模擬選挙に際し、その選挙公約について、先輩方や大人の方と意見を交わす中で、選挙に対する姿勢だけでなく、現在自分たちが暮らしている地域について考える機会にもなりました。そして、今回の模擬選挙で挙げられた公約の中で、実際に地域の生活に生かせるものがあるのではないかと感じました。

今回の公約の中で、私たちが目を留めたのは「学習」についてです。学生である私たちは、学校や家以外での学習のできる環境はとても貴重なものです。周囲が学習に打ち込む環境であれば、学習以外の誘惑に負けることも少なくなります。現在でも、アーラやマーノ、図書館などの施設を利用する人が多くいます。しかしながら、席が足りない、夜間に学習できる場所が限られている等の理由から、利用したくても出来ていない人も少なくありません。そこで、既設の公共施設の空いているスペースを学生が利用しやすいように予約制度や利用料金を改善する、或いは地元企業の空いている会議室等を学習空間として利用させていただくなどして、学習のできる場所を新たに設けることを希望します。

以上のことから、次の一点について、要望します。

記

- 1 市内に、学生の利用しやすい学習スペースを設けるように支援すること。

令和2年2月5日

岐阜県可児高等学校
1年 奥村 律香

可児市議会 議長 伊藤 壽 様

多文化交流についての意見書

私たちは、全国的に見ても外国人が多く住む可児市にある可児高校に通っています。先日、海外フィールドワークでフィリピンへ行きました。そこで、外国人技能実習生の方々が日本で研修するために熱心に日本語を学ぶ姿を見学してきました。外国人の方は、熱心に日本語を学び、日本に希望を抱いて来日されています。そのような外国人が多く住む可児市であるにも関わらず、直接外国人と関わったことがある人は多くありません。また、外国人の方に苦手な感情を抱いている人も少なくありません。これから先、外国人の方の人口が増加すると考えられる中で今のような状況を変える必要があると思います。そこで、未来の可児市を担う高校生と外国人の方で多文化交流を進め、若い世代が関係を深めていくことでより良い可児市を作っていけると考えます。そして、私たちは食文化で交流したいと考えました。

以上のことから、次の一点について要望します。

記

- 1 食文化を通じて、可児市に住む外国人と高校生が交流する企画を計画し、その段階から高校生も参加できるようにすること。
- 2 計画実現のために高校生に市からの援助を行うこと。

令和2年2月5日

岐阜県立可児高等学校
1年 田中 かよ

可児市議会 議長 伊藤 壽 様

可児高発議第4号

公共交通機関の知名度向上に関する意見書

私たちが住む可児市の抱える問題は高齢化問題です。この問題はこれからも考えていかなければいけない問題と考えています。可児高校では今年度の10月、市議会議員の方々と共に市長選の模擬選挙を行い、先輩や後輩を交えた少人数のグループに分かれ活発な意見交流をしました。そこで議題として挙げられたのはやはり高齢化についてです。そこで次のように考えました。

医療技術が発達し、長く生きられるようになった高齢者のみなさんに、私たちは可児市で充実した生活を送ってほしいと思っています。しかし、今の可児市では足の不自由な方や、車の運転が危うい方が地域の中で利用できる公共交通機関があるにも関わらず、そのことを知っている人が少ないと感じます。さらに、最近の報道では高齢者による免許返納が多く行われていると報じられており今後ますます移動が困難な高齢者は増加傾向にあると予想されます。以上のことから、次の1点について要望します。

記

- 1 市が運営する公共交通機関の認知度向上のための情報の発信に努めること

令和2年2月5日

岐阜県立可児高等学校
1年 坪川 凜香

可児市議会 議長 伊藤 壽 様